

大阪信愛女学院幼稚園 学校自己評価結果

本年度、重点的に取り組む目標・計画

- ・教職員自ら毎日の保育を振り返り、見つめなおすことによって子どもひとりひとりが自己肯定感をもち「生きる力」の基礎を築く。
- ・モンテッソーリ教育・宗教教育の充実及び教職員の研修の充実
- ・保護者への情報発信の機会を増やす。
- ・特別支援教育研修の充実と教職員間の共通理解。

A:よくあてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:まったくあてはまらない

				A	B	C	D	
学校運営	私学の 独自性	建学の精神について	1	建学の精神が教職員、保護者、園児など学校関係者などによく浸透している。	5	16	1	0
		愛校心について	2	在園生、卒園生、保護者は学校に誇りや愛着を持っている。	16	6	0	0
		カトリックの教えに基づく教育	3	宗教に基づく教育に対する保護者、園児の理解がある。	9	13	0	0
		家庭との連携	4	幼稚園に対する保護者の期待・要望を把握している。	3	17	2	0
	教育課程	保育計画	5	年間を通じた教育計画を領域別に立てている。	8	14	0	0
	教職員間 の連携	教職員間の連携	6	教職員間で相互理解・信頼関係に基づいて保育活動が行われている。	10	9	3	0
		会議の有効性	7	会議が適切な時期に行われている。	7	14	1	0
			8	会議の検討事項を十分に準備できている。	8	12	1	0
	財務関係	財務に関する意識と財務状況	9	幼稚園の経営指標と財務状況について理解し予算・決算の状況について把握している。	0	4	14	0
	情報公開	ホームページの活用状況	10	幼稚園のホームページで可能な範囲の情報公開をしている。	5	17	0	0
		保育公開状況	11	保護者へ保育を公開している。	16	6	0	0
	危機管理	役割分担について	12	事故・事件・災害等に対処する役割分担や備蓄物資の管理場所を把握している。	10	10	2	0
		危機管理対応状況	13	危機管理マニュアル、警察・消防との連携、訓練などの安全対策は十分にとられている。	1	15	6	0
	施設管理	施設整備について	14	教育環境として施設整備が整えられている。	3	12	7	0
	広報活動	園見学・未就園児イベント・説明会	15	募集活動に関して教職員が役割を果たし、参加者に園の事を理解してもらえるようにしている。	13	9	0	0
		データの共有	16	募集活動に関しての情報が共有できている。	8	13	1	0

				A	B	C	D	
教育内容	教育内容	宗教教育	17	神様から与えられているお恵みに感謝することや人への思いやりを十分に伝えている	14	8	0	0
			18	宗教行事を通し、保護者にも園の教育方針を伝えている。	11	9	2	0
		モンテッソーリ—教育	19	子どもひとりひとりの発達段階に合ったモンテッソーリ教育にそった援助ができています。	5	15	2	0
		特別支援教育	20	支援を必要とする子どもの情報共有ができています。	7	14	1	0
			21	視覚支援を用いたり子どもの動線を考えたりして環境設定をしている。	5	16	1	0
		家庭との連携	22	子どもの様子を通してコミュニケーションを図り円滑に保育に繋げるようにしている。	8	14	0	0
教員 資質 向上 ・ 研修	教職員研修	教職員の資質向上	23	保育内容について教職員間で内容を話し合い振りかえる機会がある。	7	14	1	0
		園内研修	24	カトリック教育・保育内容を充実するための園内研修体制がある。	5	15	2	0
		初任者へのサポート	25	初任者等経験の少ない教員の研修体制がある。	3	14	5	0
		園外研修	26	教職員が園外研修参加できる体制が整っている。	9	12	1	0
		モンテッソーリ—研修	27	資格取得のため園外研修に参加できる体制がある。	9	9	4	0